

宗教上の理由等で輸血を拒否される患者さんへ

奈良県立医科大学附属病院では、患者さんが、宗教上の理由などにより輸血拒否の意思を表明される場合、その意思を尊重して無輸血治療のための努力はいたしますが、治療に携わる医師が、輸血を行う以外に救命の方法がないと判断した場合、原則として輸血を実施いたします。

これは、患者さんの生命を最優先する当院の方針に基づくものであり、ご理解のほどお願い申し上げます。